



取扱説明書/ユーザーズ・ガイド

DL3115 シリーズ
交換バッテリーモジュール

Model: 3115RBM-500
3115RBM-650

安全上の重要な注意事項

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 	可燃性ガスのない場所で作業を行ってください。 ・ バッテリーを接続する際、火花が飛ぶことがあり、爆発、引火の可能性があります。
 	UPS機器にあった専用のバッテリー以外のバッテリーを使用しないでください。 ・ 指定されたバッテリー以外のバッテリー使用すると、破損、火災につながる可能性があります。
 	液漏れしているバッテリーを使用しないこと。 ・ 液漏れしているバッテリーを使用すると、故障や火災の原因となる可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
 	バッテリー交換の際、バッテリー収容口に手を入れないでください。 ・ 感電、ショート of 危険があります。 ・ 金属物を中に差し込まないでください。
 	バッテリーから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないでください。 ・ 火傷や目に入ると失明の恐れがあります。目や皮膚に付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
 	UPSを分解・改造しないでください。 ・ 分解や改造をすると、正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
 	濡れた手でバッテリー交換しないこと。 ・ 濡れた手でバッテリー交換を行うと、感電する可能性があります。
 	指輪、金属製の腕時計、ブレスレット、ネックレス等、金属製の装身具は、必ず作業前に外してから作業を行ってください。 ・ 工具、ネックレス、指輪、ブレスレットなどの金属で+-端子をショートすると、数百アンペアの電流が流れ、金属が溶断、または赤熱しますので、作業者が火傷を負う危険性があります。
 	有機溶剤や合成洗剤を使ってバッテリーを拭かないこと。 ・ 化学物質の付着によりバッテリーケース割れの原因となる可能性があります。汚れを落とすときは、固く絞った布を使用してください。
 	バッテリーを分解・改造しないこと。 ・ 希硫酸が漏れ、火傷や失明、ショート事故の危険性があります。
 	適合するUPS以外の機器で充電しないでください。 ・ バッテリーの発火、破裂の可能性があります。
 	バッテリーは重量物ですので、落下させないようにご注意ください。 ・ 落下によるけがや、バッテリー自体の破損につながります。
 	バッテリー交換作業は安定した平らな場所で行ってください。 ・ 不安定な場所での作業は落下等の事故につながります。

バッテリー交換時のリスク

(1) 負荷装置の安全な停止

本装置は、バッテリー交換時には、負荷装置を停止（コンピュータの場合、シャットダウン）する作業となります。そのため、UPS の出力に接続されているコンセントプラグを全て外すことで負荷装置の停止を確実にしてください。バッテリーを取り外している状態で停電などの入力電源異常が発生した場合は、UPS はバックアップできませんので、負荷装置が停止してしまいます。

(2) ユーザー交換による保証除外

ユーザーによりバッテリー交換を実施された UPS で、交換作業の不備が原因となって発生した UPS の故障や、負荷装置への給電停止については、弊社は責任を負いかねます。

安全な交換作業を行って頂くためには、電気作業の経験・知識のある方がバッテリー交換作業を実施してください。バッテリー交換作業にあたっては事前に本書を熟読して頂き、安全上の注意事項をご理解した上で、作業を開始してください。

1. 準備

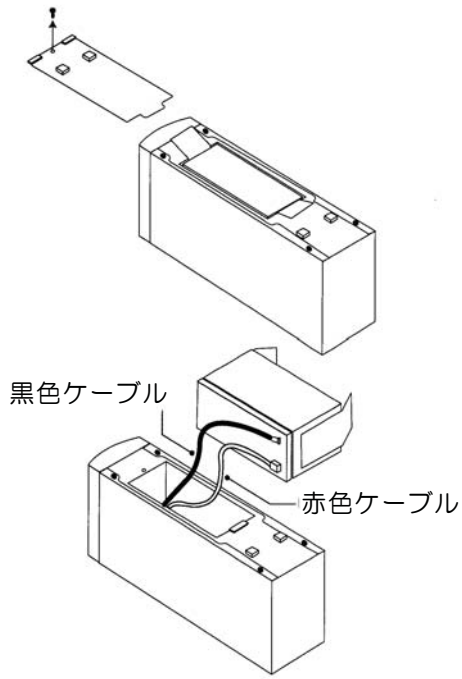
- ・ +ドライバーをご用意ください。
- ・ 指輪、金属製の腕時計、ブレスレット、ネックレス等、金属製の装身具は、必ず作業前に外してから作業を行ってください。

2. 交換手順

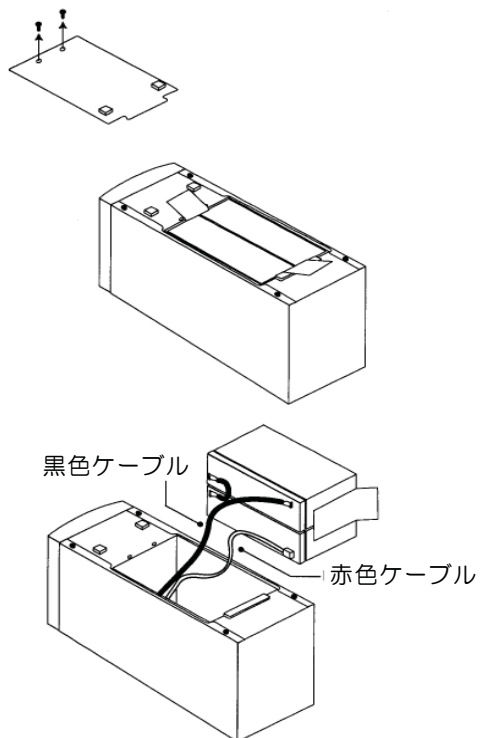
次の手順に従って、バッテリーを交換してください。

- (1) 負荷装置の電源を切り、そのプラグをUPSから外します。
- (2) UPSの電源を切り、電源から電源コードを抜きます。平らな安定した場所に置いてください。
- (3) UPSを倒して、UPSの底にあるバッテリーのふたを締めているネジを外します。
ふたをスライドさせて外します。
※ネジを紛失しないようにしてください。
- (4) 取り外し用のタブを持ってゆっくりとバッテリーを上へ、引き出します。
- (5) バッテリーとUPSを接続している黒色バッテリーケーブルを外します。次に赤色バッテリーケーブルを外します。
- (6) バッテリーを交換します。交換済みバッテリーは、4項『交換済みバッテリーのリサイクル』をご参照願います。
- (7) バッテリーケーブルを新しいバッテリーに接続します。赤色ケーブルをバッテリーのプラス端子(+)に、黒色ケーブルをマイナス端子(-)に接続してください。新しいバッテリーを慎重にケースに入れます。
- (8) バッテリーのふたをスライドさせてはめこみ、ネジで締めます。
※ネジは(3)にて外した物を使用してください。
- (9) 電源コードを電源に差し込み、UPSの電源を入れます。
- (10) 負荷装置をUPSに接続します。一台ごとに負荷装置の電源を入れます。

300VA-500VA



650VAモデル



バッテリーの端子部分が固く抜け難い場合があります。カギ等の金属片を使っての取り外し作業は絶対に行わないで下さい。また、引き抜きは強く真直ぐに行ってください。

3. バッテリー交換後の運転確認



注記 ・試験の前に 24 時間バッテリーを充電することをお奨めします。

Ⓜ ボタンを 3 秒間押し続けて、バッテリーテストを開始します。UPS は、自動的に負荷装置の一部を 15 秒間バッテリーに接続し、バッテリー性能をテストします。

バッテリーに問題がある場合、UPS はノーマルモードにもどり、警告音が鳴ります。この場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

4. 交換済みバッテリーのリサイクル

交換が完了したあとには、古いバッテリーが手元に残ります。鉛バッテリーはリサイクル対象の資源です。また、バッテリー内部で使用されている鉛や希硫酸は、適切な処理をしなければなりません。鉛バッテリーは特別産業廃棄物になりますので処分する際は、特別産業廃棄物処理業者にご依頼ください。また、弊社にて交換済みバッテリーを下取りすることもできます。下取りを希望される場合には、必ず新品バッテリーが入っていた梱包箱を使用し、運送伝票の品名欄に「使用済みバッテリー」と記入の上、下記の宛先まで送付ください。

注) バッテリーから液漏れしている場合は、弊社お買い求めの販売店にご連絡ください。

【使用済みバッテリー送り先】

〒300-0396

茨城県稲敷郡阿見町香澄の里36-1

富士物流株式会社 宛

TEL:029-889-3120

商品の最新情報および最寄の営業拠点情報をホームページにてご提供しています。

http://www.fujielectric.co.jp/products/power_supply

保証書

型式	
機番	
保証期間 6ヶ月	
お上 買い い日	(西暦) 年 月 日
お 客 様	千()
	住所
お 客 様	お 名 前
	お電話 ()
住所・店名 お買い上げ店	電話
㊞	

保証規定

本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合は、本保証規定に従い故障箇所の修理または良品と交換させていただきますので、弊社にお申し出ください。
なお、保証期間内においても次の場合には有償修理となります。

1. 本保証書のご提示がない場合。
2. 本保証書にお買い上げ販売店の記名および押印がなされていない場合。
3. 本保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合。
4. 本保証書をお買い上げ販売店了承を得ることなく訂正した場合。
5. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
6. 火災・地震・水害等の天災地変による故障・損傷の場合。
7. ご使用上の誤りあるいは当社にご相談なく、修理・調整・改造した場合。
8. 本保証書は本製品が国内で使用される場合に限り有効です。

※本保証書は再発行致しませんので大切に保存してください。

富士電機株式会社

東京都品川区大崎1丁目11番2号ゲートシティ大崎イーストタワー
(URL) http://www.fujielectric.co.jp/products/power_supply
(問合せ先) 0120-298-277

-----<切り取り線>-----